



「戦争法案廃案、強行採決反対」と集まった人たち。演壇であいさつするのは山下書記局長＝14日、東京・日比谷野外音楽堂

戦争法案 採決許さない

国会包む2万人の熱気

東京・日比谷

衆院安保特別委員会が15日にも戦争法案の採決強行を狙う政府・与党は許せないと14日夜、採決強行反対と法案の廃案を求める大集会在東京・日比谷野外音楽堂で開かれました。2万人（主催者発表）を超える人が駆けつけました。会場に入りきれない人が長蛇の列をつくり、集会途中から、「安倍政治を許さない」と書いたプラカードを持って、「戦争する国 絶対反対」とコールしながら、国会に向けて怒りのデモ行進をしました。

「戦争する国」絶対反対

集会最後の行動提起で、宗門あげてみなさんとも「2万を超える人たちは隣にがんばります」と発言。グループ「制服向上委員会」が憲法9条の大切さを表しています。それを確信を廃案にするため全力をつにして、今日をスタートに「明日から数万人の国会前座り込みと、全国のたたかいで廃案の意思を与党に示そう」と呼びかけました。会場から「ウォー」という大歓声が沸き起こりました。安全保障関連法案に反対する学生の会の佐藤孝氏、作家の宮台暎子氏、真宗大谷派東本願寺の寺田正寛氏、日本弁護士連合会の山岸良太・憲法問題対策本部長代行がゲストスピーチしました。

佐藤氏は「殺し、殺される環境に日本人を出すわけにはいかない。こんな時代を迎えるために学び、たまたかってきたわけじゃない。廃案にするまでもとにかくぼろっ」と訴えました。寺田氏は「法案廃案、日本共産党の山下芳生書記局長は、政府・与党が15日にも採決を強行しようとしていることを取り上げ、こんなにも熱議を重ね、どんなに熱議を重ねても『合意』にはなりません」と訴えると、会場から大きな拍手が起こりました。呼びかけました。

空前の運動で廃案に

山下書記局長が訴え

日本共産党の山下芳生書記局長は、政府・与党が15日にも採決を強行しようとしていることを取り上げ、こんなにも熱議を重ね、どんなに熱議を重ねても『合意』にはなりません」と訴えると、会場から大きな拍手が起こりました。呼びかけました。

動員委員会です。東京都北区の元高校教師。 ↓行動予定⑤面

7/15 赤旗

師、松原信村さん(89)は、「教え子をひとりも戦場に送らなかつた70年の歴史を安倍首相に覆されるのは許せない。教員として歩んできた私の人生をかけて廃案に追い込みたい」と話しました。